



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3383回例会・2022年9月21日

本日のプログラム

ゲスト卓話 「日本での経験」

米山奨学生 北見工業大学
ユーソ・カレビクリスティアン・エロネン 様

2022～2023年度国際ロータリーテーマ



R. I. 会長 ジェニファー・ジョーンズ

第3382回例会（9月14日）の記録

ロータリーソング それでこそロータリー

会長挨拶 田尾会長

9月2日(金)久木ガバナーをお迎えしての3クラブ合同ガバナー公式訪問例会お疲れ様でした。例会終了後に理事役員と各委員長の皆様に残って頂きましてクラブ協議会を行い、北見RCの今年度の方針等を説明させて頂きました。その会議の中盤に田巻エレクトと久木ガバナーがやりとりをする場面がございました。「女性会員をもっと増やしていきたいのですが、どのように活動をしていったら宜しいでしょうか？」というお話で大変盛り上がりしました。そして昨日私のところに地区の委員長をされている渡辺喜代美さんという方から電話を頂きまして、「10月8日(土)の地区大会の午後1時から3時の2時間で新入会員と女性会員のセミナーがあるのですが、その中で是非田巻エレクトにパネラーとして会議の席でお話して頂けませんか？」というような打診を頂きました。多分久木ガバナーから渡辺委員長にクラブ協議会でのお話があったのだと思います。少し前に田巻エレクトから「地区のセミナーに参加の依頼があり、自分としては挑戦してみたいのですけれどもクラブとして宜しいでしょうか？」というお話を頂いたものですから、「北見RCとして喜ばしい事ですので是非セミナーで活躍して来て下さい」という事でお話させて頂きましたので、この事を皆さんにお伝えして8日のセミナーに参加予定の方は田巻エレクトを応援して頂きたいという風に考えております。

それと、先日主藤直前会長のところに亡き越膳会員の奥様から「長年お世話になりました。ありがとうございました」という事でクラブの方に寸志を頂いておりますので皆様にご紹介させて頂きます。

今日は伊藤青年会議所理事長の卓話という事で、先日北見青年会議所70周年も無事挙行されておりますし、またこのコロナの中で色々ご苦労されながら邁進されていると思いますので、今日はきっとそのようなお話が聞けるものと思います。本日の例会もどうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告 帰山幹事

- 9月は「基本教育と識字率向上月間」となります。マイロータリーよりリソースを活用して皆様方の更なる知識拡大に向けてお役立て頂ければと思います。
- 地区大会登録料・宿泊料の事前納付のお願いをFAXにてご案内をさせて頂いております。またレターボックスの方に地区大会の当日資料を入れさせて頂いておりますので当日ご活用下さい。
- 北見郵便局様よりご依頼頂いております、イオン北見店様の前にあるポストの上にカーリングをデザインしたものを地域振興目的で設置するのに協賛金をお願いしたいという事で、理事会で会から3万円の協賛金を拠出するという事で決まりましたのでご報告させて頂きます。
- R1第2830地区より青森県大雨災害支援金の依頼が来ております。こちらの方も会から3万円拠出するという事で理事会の方で決定させて頂きました。
- 美幌RCより、創立60周年記念式典につきましてはコロナウイルスの感染状況により内部だけで執り行うという事でご案内が来ております。
- 9月15日(木)北見西RC 夜間味覚例会 点鐘18時 会場ホテル黒部となっております。
- 9月のロータリーレートは1ドル=139円です。

委員会報告

小池創立85周年実行幹事

創立85周年記念式典ですが9月28日(水)16時受付開始、16時30分より開会となります。現在実行委員会の中で部会毎に準備を進めさせて頂いております。北見RC、歴史と伝統があるクラブの85周年の節目ですので皆様のご協力を今後ともお願いしたいという事で出席の方を宜しくお願い致します。

誕生記念 池田会員・吉田会員・和田会員・富田会員

結婚記念 青山会員・小林会員

入会記念 中村会員・岡村会員



ニコニコBOX

松田会員～北見RCゴルフコンペでお情けで優勝させて頂きました。ありがとうございました。
富田会員～8月に娘が結婚しました。一安心。

プログラム

ゲスト卓話 「今年度の運動と70周年を迎えて」

北見青年会議所 理事長 伊藤 諭 様



本年度のスローガンは「感謝を忘れず、勇気をもって挑戦しよう、輝けJC魂」という事で、所信を書く時に今年はどうしても新型コロナウイルスの事が避けられない状況だったのと同時に1953年に創立した北見青年会議所が70周年を迎えるという大きな節目の年でありましたので、そこを所信に込めましてこのようなスローガンとなりました。基本方針は3つの柱、地域社会に貢献できる人づくり、そしてこういう時代でも持続可能な組織づくり、そして地域住民の方々と共に作るまちづくり、を中心に今年運動を展開しております。そして切っても切り離せない70周年をしっかりとやりとげる、その4つの柱でしっかりと運動を進めている最中です。

次に事業の紹介をさせて頂きます。1月第一例会、新年恒例会という事で1月4日に開催させて頂きました。昨年は新型コロナウイルスの影響で開催が出来ず2年振りの開催となり、市内関係諸団体の皆様そしてシニアクラブの皆様とご来場頂いて開催する事が出来ました。そして3月事業として、まちづくりビジョン、地域の未来へという事で北見市議会議員選挙予定者に質問を投げつける事をしました。この質問の内容については、市内の高校1、2年生を対象に約2,000名にアンケートを取りました。そして27日に投票票がありました。北見市議会選挙の立候補予定者に向けてアンケート結果を基に質問を送りまして後日回答をSNSで公開をしたという内容です。選挙終了後には北見市長の辻市長にアンケートをお持ちしまして、今後のまちづくりへのヒントとして頂きたいとお伝えしました。光栄にも3月30日に北海道新聞のコラムにこの取り組みが取り上げられました。投票率の下落が続き、初めに5割を切りました。だが北見JCが未来の有権者達にまちづくりを問いかけた事は意義があったと思うという風にご記事の中で紹介して頂き、担当委員会も非常に嬉しく思ったという事がございました。そして5月例会ですが、今北見青年会議所は年々メンバーが減っておりまして44名でスタートをしております。今後の組織がどうすべきなのか、これからどういう組織として地域に根差していくのかという事をメンバー全員でディスカッションするという例会を行いました。そして年内にはこのディスカッションの内容を基に5年10年先を見据えたビジョンを描いていく予定でございます。そして7月第一例会、北見ほんち祭りという事でこちらも3年振りの開催となりました。今年は実行委員会、JC、商工会議所青年部、YEGさんを中心に構成された企画部会というのを立ち上げまして、何度も何度も会議を重ね、今年は香りゃんせ公園、そして一日開催とさせて頂く運びとなりました。当日は多くの市民の方々にご来場頂きまして、昼以降は非常に人が混雑するような状況になってしまいましたけれども、それだけ市民が待ち望んでいた事なんだなと実感する機会となりました。JCの持ち場であったサンバやダンス、屯田大綱引きについては沢山の方々の協力の下、非常に好評を頂いた形となり大成功であったと感じております。片付けをしながら久々に見る花火はとても素敵で忘れる事が無いんじゃないかなと思っております。そして7月第二例会、創立70周年という事で7月30日に創立70周年記念式典懇親会を開催させて頂きました。創立70周年を迎えまして、私達現役メンバーもやはり44名という事で新型コロナウイルスの影響もあり、実際に開催出来るのかと逃げ出したくなるような時もありました。私自身もこの理事長という職を受けた時に、70周年があるというのが非常に重く受け止めておりまして、自分自身も60周年を見ている訳ではないので、分からない事だらけでありましたが、色々歴史を紐解く中で、この北見の地域を今までも盛り上げて来たのは青年会議所の先輩達であり、そしていつの時代もこうして時代を動かして来たのは青年であったという事を学ばせて頂きまして、しっかりと70周年をやれよという事でメンバー一同力を合わせて取り組んで参りました。当日は300名程の方に来場頂き、来場前には抗原検査を全員に受けてもらうという事を取り組みました。今回創立70周年を迎えるにあたり、多くの関係団体の皆様、OBの皆様に応援のお声掛けを頂く事が出来ました。我々現役メンバーはこれを機に今までの歴史を振り返るよい機会となり、これからもこの地域で明るい豊かな社会の実現に向けて頑張っていかなければならないという思いを強くしました。また私は理事長として皆様の前でこのようにお話をさせて頂く機会を多く頂いております。残り3ヵ月少々となりましたけれども、支えてくれる仲間がいる限り私自身が一番感謝の気持ちを持って任務を全うしていかなければならないという風に思っております。そして8月には人づくり委員会でスポーツをターゲットに行って1年間の運動を取り組んでスポーツ体験会を開催しました。小学校3年生から6年生を対象に実施し、スポーツを通じたコミュニケーション能力を高めて頂きたいという事もあって開催しました。

最後になりますが、今年1年理事長という役職をお預かりしまして、人数が減ってきてもやる事が変わらない中で非常に苦労が多く、そしてコロナの影響もあって中々やりたい事も出来ないという中で、ただ必死になりながらもやれば本当に青年会議所というのは大切な仲間が出来る場所だと私も1年を通して実感しました。まだまだ3ヵ月あり、しっかりと走り抜けていかなければならない状況ではありますが、来年に向けてどこかにいい青年がいらっしゃったら教えて頂きたいなと思っておりますし、私も今年JCを卒業しますので、これからも何かしら地域のために頑張っていきたいという思いを強くさせて頂いて結びとさせて頂きます。

出席報告 小林出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式	A	B	C	D	E	F	C+E+F	C+E+F/(A-B)+D×100	
本 日	9/14	57	6	41	2	5	46	86.792%	
前 回	9/2	57	6	38	1	0	39	75.000%	
前々回	8/24	57	6	37	1	2	40	76.923%	
前々々回	8/17	57	6	36	3	0	38	70.370%	

【次回9月28日】 「北見RC創立85周年夜間例会」

編集後記 朝晩の寒暖差が大きくなってきました。皆さま体調を崩さぬようお身体ご自愛ください。(K.N)

2022～2023年度 北見R.C.活動方針

つなぎ目になろう～ボーダーを超えて～

国際青少年交換とは

R1の常設プログラムで国際理解と親善を促進する事を目的として通常15歳～19歳までの青少年(高校生)に母国以外の国を訪問したりそこに留学したりする機会を与えるものです。